

新日语丛书之二

日语助词和助动词用例

张国强 著

北京工业大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

· 日语助词和助动词用例/张国强编著. —北京:北京
工业大学出版社, 2000. 12

(新日语丛书)

ISBN 7-5639-0796-3

I. 日... II. 张... III. ① 日语-助词 ② 日语-助动
词 IV. H364.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 54023 号

日语助词和助动词用例

张国强 著

*

北京工业大学出版社出版

各地新华书店经销

徐水宏远印刷厂印刷

*

2001 年 1 月第 1 版 2001 年 1 月第 1 次印刷

850mm×1168mm 32 开本 11 印张 274 千字

印数: 1~5000 册

ISBN 7-5639-0796-3/H·16

定价: 15.00 元



日语是粘着语。

日语的特征之一是助词多,每个助词都有若干种用法及含义。

助词和助动词是日语语法中的一个主要组成部分,也是日语基础阶段的重要学习内容之一。

助词和助动词接在什么词后,表示什么意思,这些语法现象分散在不同的语言材料里。不论使用哪种教材,经过一个阶段的学习,都应该对助词和助动词的使用方法进行系统的归纳、复习、整理,以便对日语语法体系中的主要内容——助词和助动词有个全面的了解,以利于提高听、说、读、写诸种言语能力。

笔者不主张死记助词和助动词的用法条文,历来主张通过背诵、记忆大量的短句来了解它们在具体句子中的用法及含义。同时,借此掌握规范的、完整的句子。因此,笔者以日本学校语法对助词和助动词的叙述为基础,用大量的例句说明格助词、接续助词、副助词、终助词和助动词的主要用法,以加深读者对各类助词和助动词的深刻了解。

学习基础日语的在校学生、自学日语的读者、收看收听电视日语讲座及广播讲座的学员都可使用此书。本书亦可作为教学资料参考。

北京工业大学出版社重视基础日语读物的出版,为普及日语教育作出了积极的努力并对本书的问世给予了热情的帮助和指导。潘贤忠、张美琴、周德荣和王晓同志参加了本书部分内容的编写,在此一并表示衷心的感谢。

张国强

助词浅说

1. 助词的性质

日语单词可以分为两大类,即独立词和附属词。

独立词有:名词、代词、副词、连体词、接续词、感叹词、动词、形容词、形容动词。

附属词有:助词、助动词。

○ 桜の花が咲きました。

(樱花开了。)

这句中的“の”“が”就是助词。

“の”必须接在“桜”的后面,共同构成句节,作连体修饰语,说明“桜の”和“花”的关系。

“が”必须接在“花”的后面,共同构成句节,说明“花が”是“咲きました”的主语。

○ わたしは 東京と 横浜へ 行く。

(我去东京和横浜。)

这句中的“わたし”“東京”“横浜”是体言,“行く”是用言。如果只有体言和用言,句子则无法成立,词和词的关系也无法说明。

○ わたしが 本を 読む。

(我读书。)

○ わたしだけが 本を 読む。

(就我一个人读书。)

由于加了个助词“だけ”，上面两句的意思就有所不同，“だけ”具有表示限定的意思。

简单地归纳一下，可以得出如下的结论：

(1) 助词是附属词，没有活用。

(2) 助词在句中表示词和词(句节和句节)的相互关系，或增添某种意义。

(3) 在句中，助词主要接在独立词后面，和独立词共同构成句节。

2. 助词的种类

日本语法界有三大学派，对语言基础有各自的观点，从而形成了各自独立的语法系统。

助词虽有不同的分类方法，但主要是依据助词接在什么词后面、具有什么作用来划分的。本书按照日本中小学国语教育中讲授的“学校语法”，把助词分成下述四类：

(1) 格助词

(2) 接续助词

(3) 副助词

(4) 终助词

格助词和接续助词表示词和词的关系，副助词和终助词则增添一定的意思。

格 助 词

格助词主要接在体言或相当于体言的词后,共同构成句节,表示该句节和同一句中其他词或句节的关系。

所谓“格”就是指句节相互之间的资格地位关系。格助词决定句节的种类,同体言结合在一起可以构成主语、连体修饰语、连用修饰语。

- 風が吹く。
(刮风。)
- これが学校だ。
(这是学校。)
- 夕日が美しい。
(夕阳美丽。)

“風、これ、夕日”和“が”结合在一起,分别构成各句的主语。

- 日の光がさしてくる。 ○ 北の風が吹く。
(阳光照射过来。 (刮北风。)

“日、北”和“の”结合在一起,分别构成各句的连体修饰语,修饰“光”和“風”。

在修饰语当中,修饰含有体言的句节(如例句中的“日が”“風が”)的修饰语,称作连体修饰语。

- 手紙を書く。
(写信。)
- 10 時に寝る。
(十点睡。)
- 公園へ行く。
(去公园。)
- 友達と遊ぶ。
(和朋友玩。)
- 山から降りる。
(下山。)
- 日本語で話す。
(用日语说。)

“を”“に”“へ”“と”“から”“で”分别和前面的名词(名词属于体言)结合在一起,构成各句的连用修饰语,修饰后面的动词(动词属于用言)。

在修饰语当中,修饰含有用言句节的修饰语,我们称其为连用修饰语。

格助词有:

1. が 2. の 3. を 4. に 5. へ
6. と 7. から 8. より 9. で 10. や

1. が

(1) 接在体言后面,构成主语句节。

- 雨が降ります。
(下雨。)
- 花が咲きます。
(开花。)
- 山が高いです。

(山高。)

- 景色が美しいです。

(景色秀丽。)

- 海がきれいです。

(大海美丽。)

- 電車が来ました。

(电车来了。)

- 日本で大地震が起こりました。

(日本发生了大地震。)

- 毎年夏休みに観光客がたくさん来ます。

(每年暑假要来许多旅游的客人。)

- 電話はベルが発明しました。

(贝尔发明了电话。)

- 人が走ります。

(人跑。)

- 鳥が鳴きます。

(鸟鸣。)

- 朝日が登ります。

(旭日东升。)

- 海が青いです。

(大海蔚蓝。)

- 桜の花が咲いています。

(樱花盛开着。)

(2) 接在相当于体言的词后,构成主语句节。

- これからがいいです。

(往后就好了。)

- 山田さんなどがもう帰りました。

(山田等已经回去了。)

- 十番までが甲組です。

(前十名为甲组。)

“から”“など”“まで”等相当于体言的词。

(3) 在主谓句中,“が”表示谓语句的主语。

- 王さんは心が美しいです。

(小王心灵美。)

我们先了解一下什么叫主谓句。

王さんは 心が美しいです。

主 语

谓 语

心が 美しいです。(主谓关系)

主语 谓 语

从上述例句中可以看出,谓语部分中有主谓关系,构成连句节,这种句子就叫主谓句。“が”表示谓语句中的主语。

再例:

- この機械は動きが悪いです。

(这台机器运转得不好。)

- 去年のいまごろは雨が多かったです。

(去年的这个时候雨多。)

- 日本は山が多いです。

(日本山多。)

- 象は鼻が長いです。

(象鼻子长。)

- 今年は稲のできがいいです。

(今年水稻收成好。)

(4) 表示希望、好恶、巧拙、能力等的对象语。

- わたしは、これがほしいです。
(我想要这个。)
- スミスさんは、日本語ができます。
(史密斯会日语。)
- 弟は、野球が大好きです。
(弟弟非常爱打棒球。)
- わたしは、お茶が飲みたいです。
(我想喝茶。)
- わたしは、コーヒーが好きです。
(我喜欢喝咖啡。)
- 今晚は刺身が食べたいです。
(今晚想吃生鱼片。)
- お金と名誉がほしいです。
(希望有钱、有名誉。)
- 田中さんは演説がうまいです。
(田中演说很棒。)
- 中村さんは中国画が得意です。
(中村擅长中国山水画。)
- 山田さんは作曲ができます。
(山田会作曲。)
- 中野さんは英語と中国語が分かるそうです。
(听说中野懂英语和中文。)
- 私は英語が話せます。
(我会说英语。)
- 妹は童話が読めます。
(妹妹能读童话。)
- 彼は歌がよく歌えます。

(他唱歌唱得很好。)

- 私は歌が大好きです。

(我非常喜欢唱歌。)

- 関西の人は納豆が嫌いです。

(关西人不爱吃纳豆。)

(5) (表示定语句中的主语)。

- あの人が言ったことは、正しいです。

(他说的是对的。)

什么叫定语句?“あの人が言った”修饰“こと”,“あの人が”是主语,“言った”是谓语,用具有主谓结构的句子作修饰成分,这种句子称作定语句。

有的学者把例句中的“あの人が言った”称为“子句”,“が”作“子句”中的主语。

再例:

- わたしが来た時には、ここには何もありませんでしたよ。

(我来这儿的时候,这里什么也没有呀!)

- 背が高い人は山田さんです

(个儿高的那个人是山田。)

(6) 用疑问代词作主语时,疑问代词后面一定要接“が”,回答时也必须用“が”。

- だれがまどをこわしたのですか。

(谁打碎了窗玻璃?)

わたしがやったものではありません。

(不是我干的!)

- どこが映画館ですか。
(哪儿是电影院?)
そこが映画館です。
(那儿是电影院。)
- 果物は何が一番好きですか。
(你最喜欢什么水果?)
- だれが試験に合格したのですか。
(谁考试及格了?)
- 小野さんと田中さんとどちらがお酒が強いですか。
(小野和田中,他们谁酒量大?)

2. の

(1) 接在体言后面,构成连体修饰语,表示所有。

- これは松村さんのかばんです。
(这是松村的书包。)
- これは山田さんの本です。
(这是山田的书。)
- これは弟のおもちゃです。
(这是弟弟的玩具。)
- それは彼のシャツです。
(那是他的衬衣。)
- あれは私のペンです。
(那是我的钢笔。)
- これは私の家内マリです。
(这是我的妻子玛丽。)

(2) 表示性质、属性。

- ここは英語の専門学校です。

(这是英语专业学校。)

- これはスイスの時計です。
(这是瑞士制造的手表。)
- 田中先生は東京大学の教授です。
(田中先生是东京大学的教授。)
- これは科学の本です。
(这是本讲科学的书。)
- この大学には中国の留学生がたくさんいます。
(这个大学里面有许多中国留学生。)
- 私は電気会社の山田と申します。
(我是电器公司的山田。)
- おしゃべりの小野さんは今日珍しく静かです。
(爱聊天的小野今天显得少有的宁静。)
- こちらは北京大学の学生の王さんです。
(这位是北京大学的學生小王。)
- あなたはどこの会社に勤めていますか。
(你在哪家公司上班?)
- 先生の話をよく聞きなさい。
(好好地听老师的话。)
- 切符の予約は早めをお願いします。
(拜托你早点预订票。)
- この本のおもしろさは君には分からないでしょう。
(你大概不知道这本书的乐趣吧。)

(3) 接在体言后面,构成子句中的主语句节。

- わたしの買ったテレビは、安かったです。
(我买的电视机便宜。)
- わたしの友達には、英語のできる人がいます。

(我的朋友中有会英语的人。)

- わたしの読みたい本はこの本です。

(我想读的书是这本书。)

- あなたの生れた日はいつですか。

(你什么时候出生的?)

- 台風の吹く夜でした。

(那是一个刮台风的夜晚。)

- 母の呼ぶ声が聞こえます。

(听到妈妈的叫声。)

- 私の買った本は破れていましたよ。

(我买的书已经破了。)

- 私も先生のお書きになった本を買いました。

(我也买了本老师写的书。)

- 大野さんのとった写真はいつも芸術的です。

(大野拍的照片总是很有艺术性。)

- 花の咲く時は、実に美しいです。

(花开时节美极了。)

- 母の作ってくれたおかしはとてもおいしいです。

(妈妈给我做的点心非常好吃。)

- わたしの作った歌をきいてください。

(请听我创作的歌曲。)

- 風の吹く時は、ほこりが立ちます。

(刮风时灰尘飞扬。)

另外,“の”还可表示修饰语中的对象。

- 鉛筆のほしい人はいませんか。

(希望得到铅笔的人有吗?)

- 万年筆の使いよいことはもちろんです。

(不用说,钢笔当然好使。)

- 野球のできる人はいませんか。
(有会打棒球的人吗?)
- 辞典のほしい人は並んでください。
(想要辞典的人请排队。)
- コーヒーのほしい人は手を挙げてください。
(要喝咖啡的人请举手。)
- 中華料理の食べたい人がいます。
(有人想吃中国菜。)
- 風邪で頭の痛い学生は帰ってもよいですか。
(因伤风而头疼的学生可以回去吗?)
- 単語の分からないところがあるので,質問してもよい
ですか。
(有不懂的单词,可以提问吗?)
- 子供の泣き声が聞こえます。
(听到孩子的哭声。)
- 喉の痛い人は歌わなくてもかまいません。
(喉咙疼的人不唱歌没关系。)
- 中国語の分からない人は英語で話してください。
(不会中文的人请用英语说。)

(4) 接在活用词的连体形后面,使句节或句子具有体言资格。

① 表示“こと”。

- 寒いから,泳ぐのはやめたほうがいいです。
(因为天冷,还是不游泳的好。)
- 外国人にとって,漢字を覚えるのが難しいです。
(对外国人来说,记汉字是困难的。)
- 手紙を出すのを忘れてしまいました。

(忘了寄信了。)

- 国を愛するのは、自然の気持ちです。
(爱国是自然的情感。)
- 私は君が明子さんと話しているのを見ました。
(我看见你和明子在说话。)
- 西洋人は中国語を勉強するのがたいへん難しいようです。
(西方人学中文好像很难。)
- 休み時間にコーヒーを飲むのが大好きです。
(很喜欢在休息时间喝咖啡。)
- 小説を読むのが私の趣味です。
(看小说是我的爱好。)

② 表示“人”。

- 毎朝、一番に起きるのはわたしです。
(每天早上,起得最早的是我。)
- 向こうにいるのは、わたしの父です。
(对面的那个人是我的父亲。)
- 私の好きなのはショパンなんです。
(我喜欢的音乐家是肖邦。)
- そこで泣いているのは中村さんの妹です。
(在那儿哭的人是中村的妹妹。)
- あそこにいるのは私の兄です。
(在那儿的那个人是我哥哥。)
- あの入り口で立っているのが私の家内です。
(在入口处站着的那个人是我妻子。)

③ 表示“物”。